

平成 28 年度第 2 回大竹市地域公共交通活性化協議会

記 録 票

日時：平成 29 年 2 月 17 日（金）午後 2 時 30 分

場所：大竹市役所 3 階 大会議室

出席者等：別紙「名簿」のとおり

1 開 会
会長挨拶

2 議 事

(1) 坂上線バスの事業計画の変更について

○【事務局】 資料 1-1, 1-2, 1-3 により説明。

○質 疑 等 : な し ⇒

承 認

2 報告事項

(1) こいこいバスの利用者実態把握アンケート調査の結果について

○【事務局】 資料 2 により説明。

【委員】

病院等があるのは玖波駅東口である。西口に変わると商店街等がないので、恵川橋が完成すれば東口にルートを変えてもらえればよい。玖波 8 丁目から玖波駅東口につくと西口にまわってこいこいバスに乗るのがしんどいという声をいただいている。

【委員】

運転手の意見として東口は道が細く、バスが通る道ではないと思う。幸い、今まで事故はなかったが、西口にしたいほうが安全運行できると考える。

【会長】

アンケート結果では利用は高齢の方が多く、50m ぐらい歩けばいいのではという考えもあるが、それができないのでバスに乗る。運行ルートの見直しについては私が言う立場ではないが、そのあたりは考えていかねばならない。運転するのに確かに西口は安全ではある。東口の方にとっては、西口まで行くのが大変だという声もある。

恵川橋はいつまで工事がかかるのか。

(事務局)

平成 30 年 3 月末までを予定している。

【委員】

恵川橋が完成したら、運行ルートは元に戻るのか。乗客から問い合わせが来るので、

「市に問い合わせてください」と対応する形でよいのか。

(事務局長)

利用者アンケート等を行いながら、幹線交通検討分科会、活性化協議会で運行ルートを決まらせていただきたいと考えている。乗客からの問い合わせは市に問い合わせるよう案内していただきたい。

【委員】

JR と協議してのもので、今の階段を自由通路のような形で移動できるようにならないか。

【委員】

実際には入場券を買って移動している方もいる。

(事務局長)

利用者アンケートを実施し、利用者の方のご意見を尊重しながら、幹線交通検討分科会、地域公共交通活性化協議会にお諮りして、決まらせていただきたいと考えているので、お時間をいただきたい。

3 その他

【会長】

高齢者の運転免許の返納が進むであろうと考えている。今実証運行している路線は、早めにいろいろな運行方法を試し持続可能な公共交通をつくっていかねばならないという課題が突きつけられていると感じている。地域で、どうしたらコストパフォーマンスに合う、持続可能な公共交通が構築できるかを議論していただき、試してみたいと思っている。

ほかの町ではデマンド以外にも、いろいろな運行方法があると思う。実証運行する経費は市が負担しているので傍聴している議員にも他市のいいところを教えていただきながら、早くいろんな運行方法を試してみたいと思う。いろいろな運行方法の公共交通があれば地域の住みやすさにつながっていくのではないかと思う。

免許証を自主返納した高齢者には特典を付けている市町村などがあると思う。大竹市はまだ考えていないと思うが、何かないかと思う。公共交通の券を配っても公共交通がなければ話にならない。

【委員】

タクシーとバスの回数券を通常のタクシーに使用できないものか。

【会長】

高齢者の交通対策としてタクシー補助を実施している自治体もたくさんある。面白い案ではある。大竹のタクシー業者が元気になってもらわないと困る。タクシー業者がなくなってしまうと町の公共交通は壊滅状態になる。タクシー業者が商売として成り立つようにしたい。いろんなアイデアで大竹の公共交通インフラを市民が使いやすいよう

にするのがこの協議会の使命だと思う。

【委員】 高齢者の運転免許返納の支援について

高齢の運転者に免許証返納の支援をしていくことと危険な運転者が事故を起こす前に行政処分運転をやめてもらう主旨から3月12日に法律施行がある。従来は75歳以上の運転者の免許更新時に高齢者講習を受けていただいていた。この時、認知機能検査を行います。そのうち、認知機能が低下のおそれありと判定された方については、これまでは一定の交通違反・交通事故をした方に、診断書の提出をお願いしていた。今後は交通違反・交通事故をしていない方にも、診断書を提出する制度に変わる。

また、免許の返納者は増加しており、去年と比べて倍になっている。大竹市内でも80数名運転免許を返納している。法律改正を受け、これから免許を返納した方への何らかの支援が必要になってくるのではないかと思う。

県内の自治体では世羅町、安芸高田市、三次市が免許返納者に対する支援を行っている。支援の方法なども今後会議を通して考えていただければと思う。

【委員】

今の話は、公共交通だけの問題でなく、市の予算の中でどうしていくかということになる。議会からも免許返納者に対する支援の要望も出ている。すでに返納された方と今から返納される方とでは不公平感があるため、どういう形で支援していくべきかを苦慮している。早期に考えなくてはいけない問題だと考えている。協議会とは別に市としても改めて検討していく必要があると思う。

4 閉 会